


保護者を巻き込んだ小学校との連携	(2) 小学校との連携・交流
公立保育所	桜木保育所
<実施時期>	10月～3月
<幼児期の終わりまでに育って欲しい姿に繋がる部分>	
「自立心」「協同性」「言葉による伝え合い」「数量や図形、標識や文字への関心・感覚」	
<活動のきっかけ>	
<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、1年生との交流をしているが、コロナ禍のため、今年は実施できない。学校内に入れないが、教室や生活の様子など写真などで見てみたい。 ・就学前健診で学校に行ったり、修了児遠足で小学校の校庭を探索した。校庭がとても広くてびっくりした。小学生の様子を見て、「お兄さんお姉さんがなんかやっているけど、小学校ではどんなことをするのか」「教室がたくさんあるけど、どうなっているんだろう」など、気づいたことを保育者に伝えたり、子ども同士で会話するなど小学校生活に興味や関心が高まっている姿が見られた。 	
<活動のねらい>	
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校生活への関心が高まり、就学に期待を持つ。 	
<経験する内容>	
<ul style="list-style-type: none"> ・友達との伝え合いを通して小学校へ興味を持つ。 ・小学校と保育所の違いや、物の大きさに気づく。 ・友達の前で発表したり、友達の考えを聞く機会を持つ。 ・小学校での生活を知り、身の回りの整理整頓に関心を持ったり、小学生に親しみを持つ。 ・文字や数字に関心を持ち、読んだり、書いたりする。 	
<新型コロナウイルス感染症に対する活動の工夫>	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度から近隣の小学校、幼稚園に働きかけ就学に向けての情報交換ができるように働きかけてきた。コロナ禍ではあるが、小学校で幼稚園、保育所、小学校で就学に向けての情報交換を行った。また、小学校に保育所の年長児の様子を知ってもらうため、運動会を見学していただいた。小学生や先生方と直接交流することができないが、手紙のやりとりや写真などで興味を深め、小学校生活への不安を少なくする。 	
<活動の内容>	
<ul style="list-style-type: none"> ・年長児に小学校の先生に聞いてみたい事を聞き、保護者には就学に向けての心構えや不安等おたよりでアンケートをとり、小学校に回答していただいた。回答いただいた内容は、おたよりで保護者に配布した。子ども達の質問に対しては、小学校1年生からの手紙と校内や生活の様子（朝の会・帰りの会の時間・登下校・掃除の時間・給食の時間・休み時間・学習等）写真入りでの回答があった。写真入りの壁新聞は子ども達が見える場所に掲示した。 ・保育所職員が校舎内の様子や1年生の生活の様子を写真に撮り、壁新聞を作り子ども達や保護者が見える場所に掲示した。 	

<p><活動でみられた子どもの姿></p>	<p><環境構成・教材や保育者の援助等></p>
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の大きさ（校庭、体育館、教室の多さや広さ）に驚いていた。 ・小学校の写真を見て、色々な教室があることに興味を持っていた。兄弟の授業参観などで小学校に行ったことのある子が写真を見ながら友達に話をしたり、年下児にも小学校について知らせたり知っていることを共有する姿があった。 ・壁新聞を見ながら、気がついたり、感じたりしたことについて「ここは何をすところかな」等保育士や友達に発信したり、友達の話を聞いたりなどの機会を通し、小学校への興味を広げ就学への期待を膨らませていた。 ・小学校では掃除の時間があることを知り、保育士を手伝って食後の床の拭き掃除などを手伝う姿が増えた。 ・授業では勉強だけでなく、体を動かす授業があることを知った。 ・音楽の授業もあることを知ったり、休み時間があることを知り安心していた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・修了児遠足や就学時健診で小学校に行った後で、小学校に聞いてみたい事を子ども達に質問し、学校から写真入りで回答をもらった、小学校へのイメージが湧き、小学校への期待、不安の解消につながるようにした。 ・小学校の教室や持ち物の写真を撮り、保育士が壁新聞を作成し、小学校での生活や物の始末、整理の仕方等分かりやすいようにコメントを入れた。 ・壁新聞から、学校への興味を感じられたため、写真と一緒に見ながら、気づいたことや感じたことなど話をしたり、友達の前で伝えたり、友達の意見を聞いたりなど話し合いの機会を作った。 ・小学校の生活を写真で具体的に見たことで、休み時間には友達と遊んだり、掃除の時間では校内の掃除をしたりなど、学習以外の生活の様子が分かり、期待を持ったり安心できるようにした。
<p><成果と今後の課題></p>	
<p>・保育所の子ども達からの質問に対して小学生から手紙と写真で返事をいただいた。1年生からの手紙は子ども達も興味を持ち見ていた。保育所の修了児からの手紙もあり、より小学校を身近に感じる機会となり、就学への期待につながった。</p> <p>小学校の先生に運動会の様子を見に来ていただいたり、年長児や年長保護者からの質問に回答してもらう機会を通し、コロナ禍でできる事に取り組んできた。子ども達同士の交流が難しくても、直接、子どもの姿や保育所の様子を見てもらう機会は必要だと感じる。また、小学校に保育所職員も伺い、小学生の様子を知る機会も大切にしたい。今後もコロナ禍が続くと予想されるので、小学校の先生方と連絡を取り合いながら、状況に応じて交流の方法を工夫していきたい。</p>	
<p><カリキュラムコーディネーターのコメント></p>	
<p>交流会の中止をきっかけとして就学前健診や修了児遠足の小学校校庭探険といった機会を活用しながら子どもたちの小学校への興味や関心を高める努力がその後の活動の成功に繋がったと思います。年長組の後半になると友達との伝え合いも盛んになる成長を捉え、小学校と保育所の違い、生活の変化、文字や数字への関心などに発展し、それが小学校への質問の投げかけ、小学校からの回答と、さらに興味関心が深まったと思います。昨年の卒園児が小学生として質問に応答することも小学校を身近に感じる事に繋がりましたね。状況に応じた交流の方法を模索する大切さが分かりました。</p>	